

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	和歌山市立広瀬小学校	酒井 千佳
学校所在地		
〒 640 - 8128 和歌山市広瀬中の丁1丁目5番地 tel 073 (436) 0671 fax 073 (436) 1808 e-mail hirose@wakayama-wky.ed.jp		
担当者名		役職名・担当教科
辻 伸幸		教頭・辻伸幸
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校の校区は、和歌山市の中心部に位置し、古くは城下町として開けた地域であり、今も紺屋町、元町奉行丁等の町名が残っている。現在は、商店・住宅・事業所・小工場等で構成され、一般的に家庭は堅実で教育熱心であり、地域ぐるみで学校教育を支えてくれている。児童数は、戦前千名を超えたこともあったが、近年はドーナツ化現象や少子化により児童数が減少した。最近では校区内に高層マンションの建設が盛んとなっているか、児童数の増加は見られていない。</p> <p>子どもたちは、全体として明るく活発で、集団としての規律がよく守られ、互いの友人関係は、概して良好である。長年の異年齢たてわり集団による教育活動か成果をあげ、上級生が下級生をよく理解し、下級生は上級生から学ぶ校風が育ち、あいさつ運動や遠足、集会活動等、一つのことを、全校ぐるみで力を合わせてやろうとする態度が見られる。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 5年生 30名	3名 職員 3名	熊野古道、教室
実践研究テーマ		
体験を重視した郷土和歌山の魅力を再発見		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習、社会科	宿泊体験学習2015 熊野古道へ	
〔キーワード〕 郷土、和歌山、熊野古道、自然と文化		
<p>〔単元目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土である和歌山をどっぷりと体験し、郷土愛を育むと共に、それらを大切にできる心情を養う。 ・学校やグループの一員として協力し合う中で、郷土の良さを体感し、友情を深める。 ・友だちと一緒に熊野古道を体験したり、学んだりすることで、これからの郷土和歌山について考えることができるようにする。 		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</p> <p>全体 10 時間 （「 宿泊体験学習2015 熊野古道へ 」 10 時間 ）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <p>和歌山市のICT特別非常勤講師を招いて、事前学習を行った。</p> <p>和歌山県世界遺産センター（世界遺産入門他）</p> <p>和歌山県世界遺産マスター</p>		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	宿泊体験学習として熊野古道に行くことになったこと、世界遺産について学習することについて知る。	具体的に、どのようなところで、どのようなものがあるか、拡大画像を見せ興味を持たせる。	(関心・意欲) 全体観察
2	「宿泊体験学習2015熊野古道へ」の旅のリーフレットに載せる画像や文章をパソコンで作成する。また、熊野本宮大社等の調べ学習を行う。	I C Tの特別非常勤講師を招き、リーフレットのづくりや調べ学習の専門的な支援を行なう。ホームページを使用する際の著作権や信頼性などに留意できるよう支援する。	(情報の収集) リーフレットの原稿や調べ学習の振り返りを評価する。
3	手書きで説明できる場所も作るためリーフレットに枠を設定する。枠内には追加説明や友だちへ紹介したいことなどを記入する。	調べ学習の最後のまとめとして、調べて考えたことや、思ったこと等を自分の言葉で書き加えられるよう支援する。	(情報の整理) 作成中のリーフレットを評価する。
4	実際に世界遺産熊野古道本宮館で世界遺産講座と那智参詣曼荼羅絵解きの学習を受けた後、熊野古道を歩く。	現地で熊野古道について、世界遺産熊野古道本宮館の方や世界遺産マスターの方の説明や案内を受ける。	(関心・意欲) 全体観察、写真などを評価する。
5	「宿泊体験学習2015熊野古道へ」の振り返りを行う。	今回、体験して学んだことや、感じたことなどを振り返ることができるように支援する。	(関心・意欲) 作文や発言を評価する。
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>世界遺産学習の体験型の学習を核として单元学習を設定することができたので、子どもたちにとっては、知識として得るだけでなく、その良さを感じることができたことが大きな成果である。さらには、熊野の自然に囲まれたロッジに宿泊する中、温泉や川、星空、動物たちを五感を通して感じられたことで郷土和歌山の良さを実感できたと言える。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>自分たちが暮らす郷土和歌山には世界に誇る世界文化遺産があることを子どもたちは認識することができた。特に世界遺産マスターの方の案内を受けながら熊野古道を歩いたり、世界遺産熊野古道本宮館の展示物を見たり、那智参詣曼荼羅絵解きを受けたりすることができた現地での学びと行くまでに事前学習してきたことがつながり本单元目標に近づけたのが効果的であった。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>ふるさと教育が重要視されている中、この世界遺産学習はぜひとも継続していきたい。そのためにも本事業の継続を強くお願いしたい。</p>			

様式 2

平成 27 年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]



世界遺産熊野古道本宮館で世界遺産講座を受講している様子。世界遺産について分かりやすい画像で理解を深めた。



世界遺産熊野古道本宮館で那智曼荼羅絵解きを受講している様子。那智曼荼羅での登場人物から世界遺産の価値を知った。



世界遺産熊野本宮館にある展示物を開設を聞きながら学ぶことができた。阿闍梨について学んでいるところ。



世界遺産熊野古道本宮館にある展示物を解説を聞きながら学ぶことができた。和歌山県の航空写真から熊野古道を確認。



世界遺産マスターの方から直接に説明を受けて熊野古道を歩くことができた。道だけでなく周りの自然保護の大切さを知る。



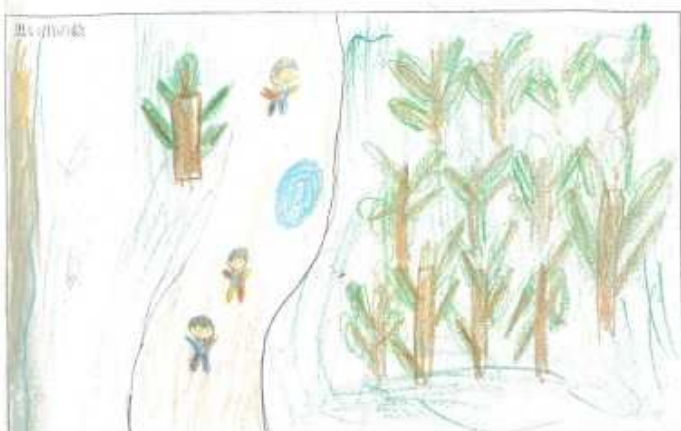
本宮大社へ参詣する。壮大な社に感動を受ける。熊野の神々に子どもたちは、それぞれの願いを伝えました。



神が舞い降りたといわれる大斎原にも行くことができた。鳥居をくぐると神聖な空気が満ちていた。

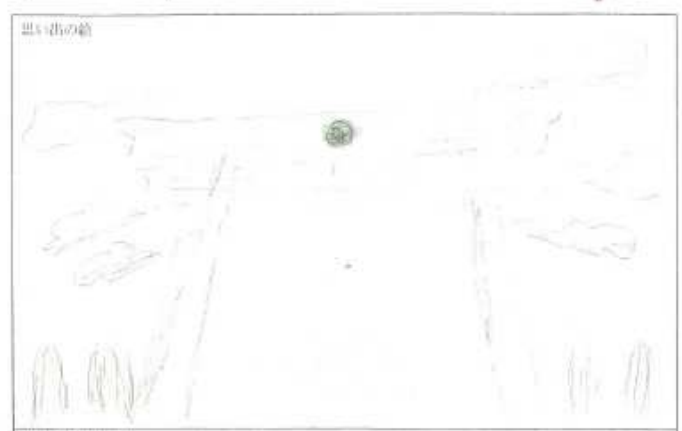
今回の宿泊体験学習で一番心に残った思い出を書きました。熊野古道の素晴らしさを学びました。

宿泊体験No.7の思い出



思い出の絵の説明
 ほんの思い出は熊野古道学習7-7で歩いたことです。
 存在する歩くときの道がすくすくいて木がっけい生えていたからで人などところを歩けたのが一番楽しかったです。
 他にもいろいろなところから思い出が湧いてきました。
 熊野古道の学習に行けるのもうれしかったです。

宿泊体験No.7の思い出 ^{上手!!}



思い出の絵の説明
 ぼくは、上の絵の時に歩いたのは今の大きめの川と川に印標に付きました。バスが来た時は、あまり入る事が出来なかった。川に舟の影が見るととても大きいのを思い出しました。熊野古道の道には、いろいろな思い出が詰まっています。おもしろかったです。

熊野古道No.7は 空気がいい
 水もきれいでいい
 木もきれいでいい!